

# 食

## 愛知県麺類食堂生活衛生同業組合

### 知恵とアイデアで

### 愛知の麺類新時代

#### 愛知はうどん県

戦後、日本経済も復興し、経済成長の時代に入りかけていた昭和32年（1957）、「環境衛生関係営業の運営の適正化に関する法律」が成立します。当時、うどん店、そば店などには次々にお客が訪れ、作った麺はどれだけでも売れるような状況でした。しかし、零細な家族経営の店が多く、労働環境や衛生管理は充分ではありませんでした。そうした問題を解消するため、昭和33年（1958）に愛知県麺類食堂生活衛生同業組合が設立されました。

意外と知られていませんが、愛知県はうどんの消費量が全国的に見ても上位のうどん県です。中でもきしめんは全国的に有名で、組合では昭和47年（1972）から名古屋城内で「きしめん亭」を運営しています。

組合設立時には、県下全体の組合員数は2,000軒以上もありました。景気の波による変動はあるものの、外食産業全体が日本の経済成長に合わせ、順調に発展していきました。しかし、昭和60年（1985）ころからはひと工夫して付加価値をつけなければ簡単には売れなくなってきました。



平成29年に名古屋能楽堂で行われた第83回全国麺類飲食業者愛知大会



名古屋を訪れた修学旅行生のきしめんの手打ち体験

#### ユニークな活動で愛知の新しい食文化を発信

組合に加入している麺類食堂で扱っているのはうどん、きしめん、煮込み、そばが主で、中には中華そばや麺類以外を扱う店もあります。また、麺類食堂のさらなる発展を目指し、店主を対象にした新しい食材や調味料を使った料理講習会を開いています。さらに、全国の小中高等学校から修学旅行のスケジュールに「麺打ち道場」を組み込みたいとの依頼を受け、実施しています。

平成29年（2017）に麺類飲食業者の全国大会を愛知県で行ったときは、名古屋能楽堂を借り上げ、登壇者は袴を着て、能楽に合わせて表彰式を行うなど、ユニークな活動も行っています。

これまでのうどん店、そば店にはうどん、そば以外のメニューを扱う店も多く、町の食堂的な面もありましたが、これからは麺類の付加価値を高め、ここでしか味わうことのできないうどん、そばの開発にも努め、愛知の新しい食文化発信の場としての役割を充実していくことに力を入れています。

■職種：製めん職 ■組合設立年：昭和33年 ■組合住所：名古屋市中村区竹橋町30-16

■電話番号：052-451-5415 ■ファックス：052-452-1570 ■ホームページ：<http://www.aichi-udonsoba.com/>